

# 環境経営レポート

対象期間\*2023年6月1日~2024年5月31日



株式会社佐々木工業

発行日2024年6月20日



認証番号0013712

01. 取組の対象組織・活動
02. 認証・登録の対象範囲
03. 実施体制図及び役割・責任・権限表
04. 環境経営方針
05. 環境経営目標
06. 環境経営実績
07. 環境経営計画の取組内容
08. 環境経営計画の次年度取組目標
09. 環境関連法規などの遵守状況及び評価  
違反・訴訟などの有無
10. エコアクション2.1の取組とSDGsとの紐づけ
11. 代表者による全体評価と見直し・指示



## 0 1 .取組の対象組織・活動



### ◆ 名称及び代表者氏名

株式会社 佐々木工業

代表取締役 佐々木 聡

### ◆ 所在地

本社 徳島県三好市井川町岡野前17-3

資材置場・倉庫 徳島県三好市井川町タクミ田79-1

### ◆ 環境管理責任者及び担当者氏名・連絡先

環境管理責任者 佐々木 享子

TEL : 0883-78-2212

FAX : 0883-78-2661

### ◆ 事業内容

建設業許可番号 徳島県知事許可（般-02）第2178号

許可種類 土木工事業、建築工事業、とび・

土工工事業、舗装工事業、解体工事業

石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業

水道施設工事業

許可年月日 令和2年11月10日～令和7年11月9日

### ◆ 事業の規模

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	万円	26,600	27,800	18,600	13,700
従業員数	人	10	14	13	13
本社床面積	m <sup>2</sup>	144	144	144	144
資材置き場・倉庫 床面積	m <sup>2</sup>	482	482	482	482
		363.8	363.8	363.8	363.8

### ◆ 事業年度

6月～5月

## 02. 認証・登録の対象範囲



◆登録組織名 株式会社 佐々木 工業

◆対象事業所 本社、資材置場・倉庫

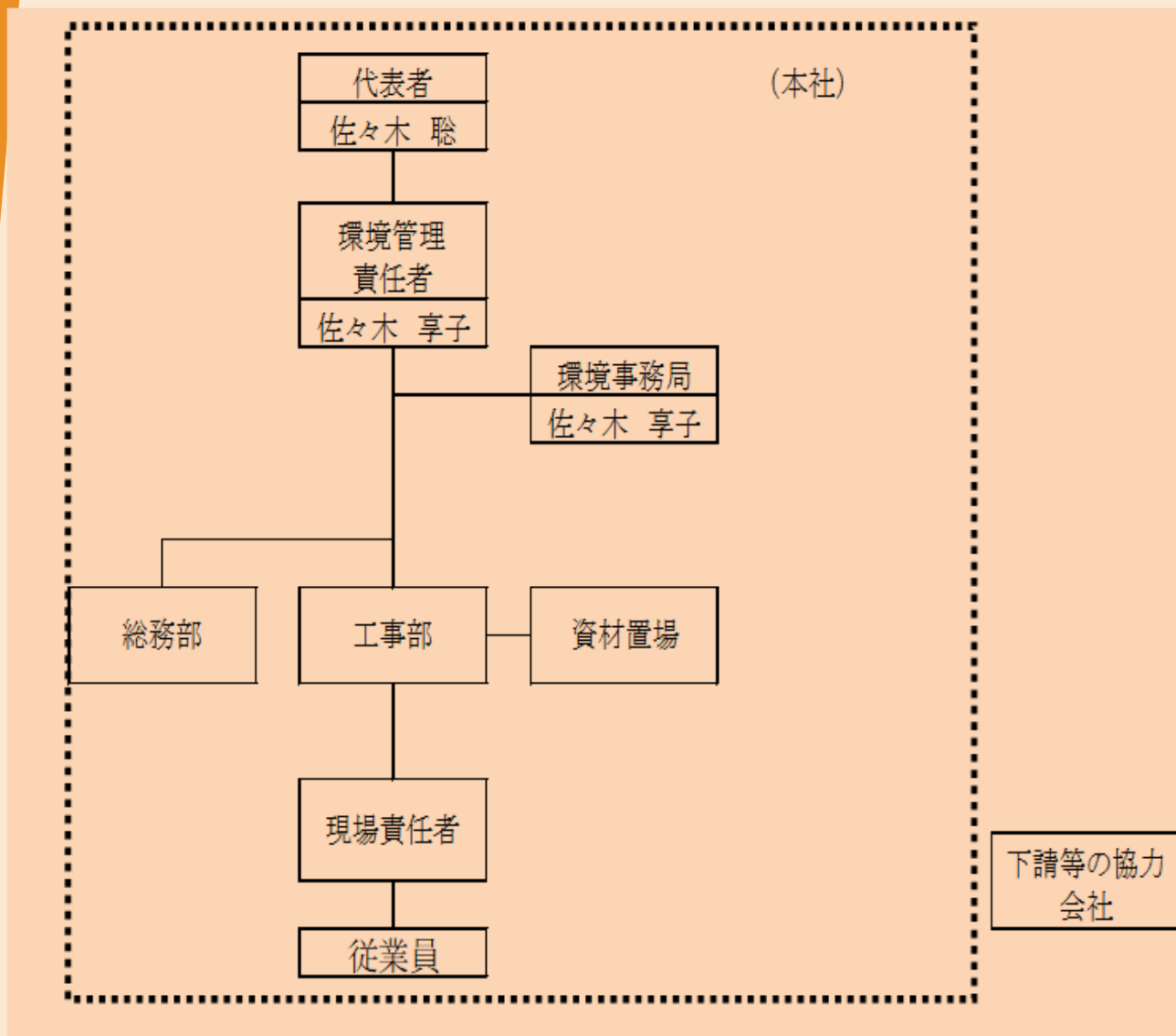
◆活動 土木工事業、建築工事業、とび・  
土工工事業、舗装工事業、解体  
工事業

◆環境活動レポート対象期間

令和5年6月1日～令和6年5月31日



### 03.実施体制図及び役割・責任・権限表





- **役割・責任・権限**
- **代表者（社長）・環境経営に関する統括責任**
  - ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
  - ・環境管理責任者を任命
  - ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
  - ・環境目標、環境活動計画を承認
  - ・代表者による全体の評価と見直しを実施
  - ・環境活動レポートの承認
- **環境管理責任者・環境経営システムの構築、実施、管理**
  - ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
  - ・環境目標、環境活動計画を確認
  - ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
  - ・環境活動レポートの確認
- **環境事務局・環境管理責任者の補佐、EA21の事務局**
  - ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
  - ・環境目標、環境活動計画原案の作成
  - ・環境活動の実績集計
  - ・環境関連法規等取りまとめ表の作成
  - ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
  - ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
  - ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
- **部門長・自部門における環境経営システムの実施**
  - ・自部門における環境方針の周知
  - ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
  - ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
  - ・特定された項目の手順書作成及び運用管理
  - ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成  
試行、訓練を実施、記録の作成
  - ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
- **現場責任者・担当工事に於ける環境経営システムの実施**
  - ・環境配慮施工の実施
  - ・全従業員・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
  - ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

## 04. ＊環境経営方針＊

- 《企業理念》
- 株式会社佐々木工業は、建設業の事業活動において、地球環境に配慮した行動を意識し、企業活動を通じて地域環境の保全に努め、環境経営の継続的改善を推進します。
- 《行動計画》
- 1. 次のことに取り組めます。
- ①電力・化石燃料の消費を減らし、二酸化炭素排出量を削減します
- ②建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量・再使用・再生利用）の推進
- ③節水を意識し、水使用量を削減します
- ④ICTの活用（工期短縮・建設機械使用燃料の削減等）
- ⑤一般廃棄物の排出量を削減します
- ⑥環境に配慮した施工を推進します
- ⑦工程、安全、品質管理の強化
- ⑧社員とともに働きがいのあす職場づくり
- 2. 当社の事業にかかわる環境関連法規制、徳島県条例、三好市条例を順守します
- 3. 環境経営方針は、全従業員に周知するとともに社外にも公表します

制定日：令和3年6月1日

代表取締役

佐々木 聡

## 05.環境経営目標



\* 中長期目標 \*

項目	単位	基準値	令和3年6月～ 令和4年5月	令和4年6月～ 令和5年5月	令和5年6月～ 令和6年5月	令和6年6月～ 令和7年5月	令和7年6月～ 令和8年5月
		令和2年6月～ 令和3年5月	目標(-1%)	目標(-2%)	目標(-3%)	目標(-4%)	目標(-5%)
電力使用量	kWh	4,607	4,561	4,515	4,469	4,423	4,377
ガソリン	L	7,968	7,888	7,809	7,729	7,649	7,570
灯油	L	434	430	425	421	417	412
LPG	kg	18	17.8	17.6	17.5	17.3	17.1
軽油	L	29,170	28,878.3	28,586.6	28,294.9	28,003.2	27,711.5
CO2排出量	kg	97,524	96,549	95,574	94,598	93,623	92,648
CO2排出原単位	kg-CO2/売上	366	362	359	355	351	348
水使用量	m <sup>3</sup>	120	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
一般廃棄物排出量	kg	61.33	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
※産業廃棄物再生資源率	%	98	100	100	100	100	100
※環境に配慮した工事の推進	件	全	全	全	全	全	全
※地域清掃活動	回	1	2	3	4	5	6
※ICT化の活用	件	2	3	4	5	6	7

### ※削減の対象外

- ・単年度とは令和5年度とする(令和5年6月～令和6年5月)
- ・電力のCO2排出係数は四国電力調整後排出係数0.574kg-CO2/kWhを使用
- ・CO2排出原単位はCO2÷売上高(万円)×10,000
- ・一般廃棄物排出量は秤で重さの計測をする
- ・産業廃棄物再資源化率(環境目標100%)
- ・環境配慮型工法は、全受注工事とする。
- ・環境に配慮した施工の推進(・排ガス規制型の建設機械使用。・低振動、低騒音型の建設機械使用  
・県産木材の看板の使用、・再生AS,砕石の使用)
- ・地域清掃活動はアドプト、ボランティア活動回数にて算出をする
- ・ICT化の活用は活用件数にて算出をする。
- ・化学物質については、下請業者へ数量の確認等の指導





## o6.環境経営実績

項目	単位	基準値	目標 (-3%)	実績値	達成率(%)
		令和2年6月～ 令和3年5月	令和5年6月～ 令和6年5月	令和5年6月～ 令和6年5月	令和5年6月～ 令和6年5月
電力使用量	kWh	4,607	4,469	3,808	117%
ガソリン	L	7,968	7,729	8,004	96%
灯油	L	434	421	320	131%
LPG	kg	18	17.5	9	194%
軽油	L	29,170	28,294.9	23,149.0	122%
CO2排出量	kg	97,524	94,598	81,304	116%
CO2排出原単位	kg-CO2/売上	366	355	593	59%
水使用量	m <sup>3</sup>	120	基準値以下	120	100%
一般廃棄物排出量	kg	61.33	基準値以下	47.65	128%
※産業廃棄物再生資源率	%	98	100	100	100%
※環境に配慮した工事の推進	件	全	全	全	100%
※地域清掃活動	回	1回	4回	5回	125%
※ICT化の活用	件	2件	5件	7件	140%

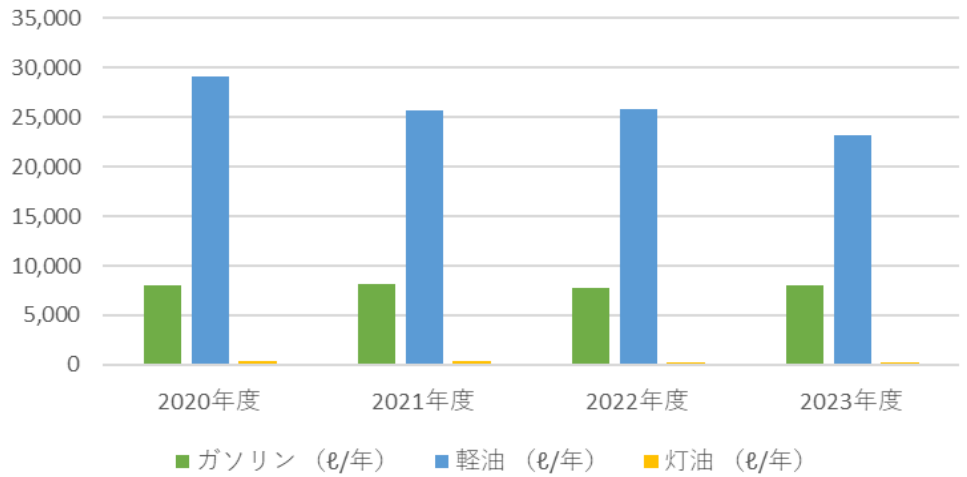
### ※削減の対象外

- ・単年度とは令和5年度とする(令和5年6月～令和6年5月)
- ・電力のCO2排出係数は四国電力調整後排出係数0.574kg-CO2/kWhを使用
- ・CO2排出原単位はCO2÷売上高(万円)×10,000
- ・一般廃棄物排出量は秤で重さの計測をする
- ・産業廃棄物再生資源率(環境目標100%)
- ・環境配慮型工法は、全受注工事とする。
- ・環境に配慮した施工の推進(・排ガス規制型の建設機械使用。・低振動、低騒音型の建設機械使用  
・県産木材の看板の使用、・再生AS,砕石の使用)
- ・地域清掃活動は、アドプトとボランティア活動回数にて算出をする
- ・ICT化の活用は活用件数にて算出をする。

### 節電\*節水シール



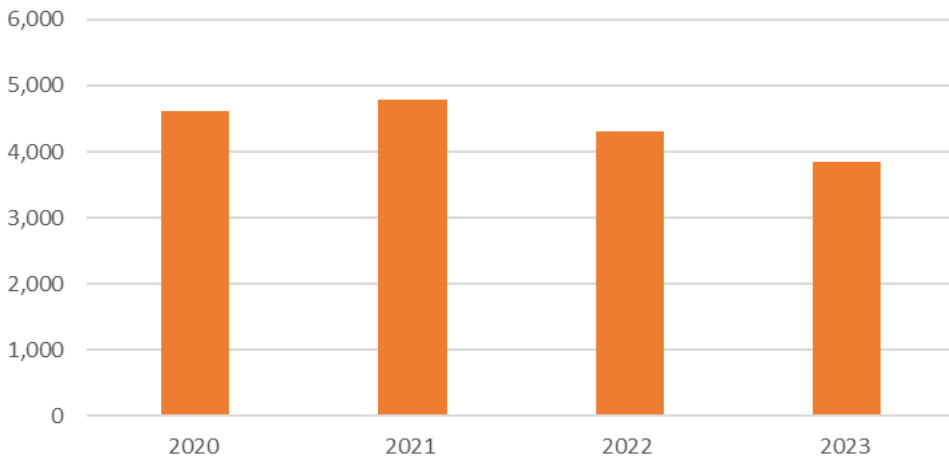
燃料使用量（ガソリン・軽油・灯油）



軽油は削減達成していますが、ガソリンは若干の増加でした。

	ガソリン (ℓ/年)	軽油 (ℓ/年)	灯油 (ℓ/年)
2020年度	7,968	29,170	434
2021年度	8,137	25,726	394
2022年度	7,731	25,789	280
2023年度	8,004	23,148	320

電力使用量 (kWh/年)



今期も電力をかなり抑えることができたかと思えます。

冬場のエアコンの使用を減らし、事務所で使用する電気等の節電に努めました。

年度	電力使用量 (kWh/年)
2020	4,607
2021	4,778
2022	4,305
2023	3,808

## 07.環境経営計画の取組内容

取組み出来ている・・・○  
改善が必要・・・×

取組期間 令和5年6月～令和6年5月

項目	活動内容	担当者	評価	
二酸化炭素排出量削減	事務所	・ 退社時は機器のスイッチオフに努める	○	
		・ 不要な照明は消灯する	○	
		・ エアコンの温度管理を行う(夏季28℃ 冬季20℃)	○	
	現場	・ 現場事務所の照明は不要な時は消灯する	現場担当者	○
		・ 現場への乗り合わせ		○
		・ 作業提指示は建設機械のエンジン停止		○
		・ 無駄な空ふかし禁止		○
	共通	・ 車両の定期点検	佐々木 享子	○
		・ 不要なアイドリングの禁止		○
	料水削減	事務所	・ 節水ポスター、シールの貼付け	○
・ こまめに水を止める			○	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物(事務所)	・ 両面印刷、使用済みコピー用紙の裏紙を利用	○	
		・ 詰め替え可能な製品の利用	○	
		・ PDFデータなどデータにてやり取りをする	○	
	産業廃棄物(現場)	・ 廃棄物管理票(マニフェスト)による適正な管理を行う	現場担当者	○
		・ 分別の徹底を行う		○
		・ 毎月1回全社員にてミーティングを行う		社長
環境に配慮した工事	・ ICTの活用	現場担当者	○	
	・ 低騒音、低振動、排出ガス対策型建設機械の使用		○	
	・ リサイクル材、県産品等の使用		○	

節電モードON



外出時電源OFF

## o8.環境経営計画の次年度取組目標

項目		活動内容
二酸化炭素排出量削減	事務所	・ 退社時は機器のスイッチオフに努める
		・ 不要な照明は消灯する
		・ エアコンの温度管理を行う(夏季28℃ 冬季20℃)
	現場	・ 現場事務所の照明は不要な時は消灯する
		・ 現場への乗り合わせ
		・ 作業提指示は建設機械のエンジン停止
		・ 無駄な空ふかし禁止
	共通	・ 車両の定期点検
		・ 不要なアイドリングの禁止
料水削減	事務所	・ 節水ポスター、シールの貼付け
		・ こまめに水を止める
廃棄物排出量削減	一般廃棄物(事務所)	・ 両面印刷、使用済みコピー用紙の裏紙を利用
		・ 詰め替え可能な製品の利用
		・ PDFデータなどデータにてやり取りをする
	産業廃棄物(現場)	・ 廃棄物管理票(マニフェスト) による適正な管理を行う
		・ 分別の徹底を行う
環境教育		・ 毎月1回全社員にてミーティングを行う
環境に配慮した工事		・ ICTの活用
		・ 低騒音、低振動、排出ガス対策型建設機械の使用
		・ リサイクル材、県産品等の使用

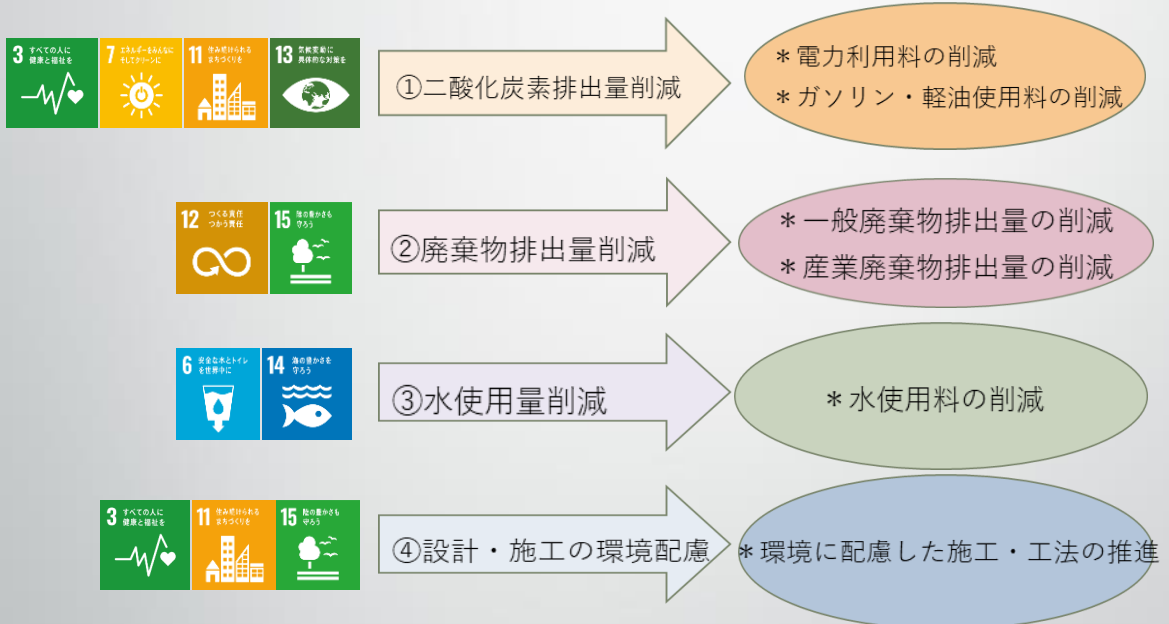
## 08.環境関連法規などの順守状況及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

摘要される法規	要求事項	遵守
廃棄物処理法(排出業者)	・収集運搬業者、処分業者の許可証の確認、マニフェストの交付、収集運搬業者・処分業者との契約、及び契約書の保管、保管基準の遵守、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
建設リサイクル法	・特定の建設資材の再資源化等	○
フロン排出抑制法	・機器の設置環境の維持保全、簡易点検の実施	○
騒音規制法	・摘要指定地域内での特定建設作業の実施の届出	○
振動規制法	・摘要指定地域内手の特定建設作業の実施の届出	○
浄化槽法	・設置等の届出、浄化槽管理の業務、定期点検	○
消防法	・少量危険物の貯蔵取扱届出	○
建設工事公衆災害防止対策要綱	・付近居住者等への周知	○
	・埋設物の確認	○
	・土止工の管理、排水処理	○
	・地盤沈下防止の処置	○
建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン	・定期清掃	○
	・「3つの密」防止対策	○
	・熱中症予防	○
建設業の環境自主行動計画	・環境経営の充実に向けた活動の展開	○
	・環境配慮設計の促進	○
	・施工段階におけるCO2の排出抑制	○
	・設計段階における運用時のCO2排出抑制	○
	・建設廃棄物の対策	○
	・有害廃棄物の対策	○
	・建設発生土の対策	○
・生物多種多様性保全、自然環境創出による持続可能な利用の促進	○	
三好市の廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・事業者による一般廃棄物の減量及び処理	○
	・事業者等の協力	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・EA 2 1 に取組み、環境方針を順守する	○

\* 遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。  
 なお、過去3年間関係当局より違反等の指摘はありません。



# 09.エコアクション21の取組とSDGsとの紐づけ



- ① \* 不要な照明は消灯
  - \* エアコンの温度管理を行う(冷房28℃ 暖房20℃)
  - \* アイドリングストップ実施
  - \* 無駄な空ふかし禁止
  - \* 車両の定期点検
- ② \* 両面印刷、使用済みコピー用紙の裏紙を利用する
  - \* 分別の徹底、リサイクルに努める
  - \* 電子データやメールの利用
  - \* 詰め替え可能な製品の利用
  - \* マニフェストの適正管理
- ③ \* 節水シールの貼付けとポスター掲示
  - \* こまめに水を止める
- ④ \* 環境配慮型(低騒音、低振動、排ガス規制)の建設機械を利用する
  - \* 県産木材を使用した工事看板の利用
  - \* 再生As・再生砕石等の利用

使用済み切手を集めてボランティア団体へ送付  
します。  
換金された後、開発途上国の教育費や人材育成  
費、ワクチンの代金など医療事業費にも使われ  
ます。



従業員も自宅で集めたものを  
持ってきてくれています 🌸

熱中症予防の為、従業員全員に  
空調服を支給しました。  
休憩をこまめに取り、ゼリーや  
アイスなどを差し入れしていま  
す。



朝礼時に従業員のアルコール  
チェックを実施しています。



## 過積載防止対策

ポータブルトラックスケールによる積載重量を測定しています。

二酸化炭素削減はもちろん、地域の道路を傷めない為にも過積載防止を徹底しています。



## 県産木材を使用した工事看板



**NETIS登録**  
国土交通省 国土院 建設機械部 建設機械課  
国土院 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
建設機械課 建設機械課 建設機械課



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課  
**タイヤローラー (10t)**



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課  
**タイヤローラー (10t)**

タイヤローラーは、ガードセンサーがNETIS登録されたものを利用して、3m以内の障害物を感知して知らせるため、巻き込み事故などを未然に防ぐことができます。



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課  
**タイヤローラー (10t)**



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課

建設機械は、全て超低騒音型・低騒音型・排出ガス対策型を活用しています。



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課  
**マカダムローラー (9t)**



型式 建設機械部 建設機械課 建設機械課  
 工場 (建設機械部) 建設機械課  
**アスファルトフィニッシャー (4.9m)**



測量機 Layout Navigator LN-150



事務所・現場でICT化を積極的に行っています。  
あらゆる面での省力化・効率化を図ることを目標としています。  
新たにドローンを購入し、現在施工中の現場でも少しずつ活用し始めています。



山腹水路工事の索道のワイヤーの点検にドローンを活用しています。  
今後は、ドローンを使つての測量も取り入れていきます。

災害時等にも活躍するドローンは、今後様々な場面で活躍することを期待しています。



## 10.代表者による全体評価と見直し・指示

項目	見直しの有無
環境経営方針	無
環境経営目標	無
環境経営計画	無
実施体制	無

### \* 代表者総評 \*

今期も前期より工事受注数が減少したことも影響し、エネルギー使用量の削減につながった。従業員の協力も大きく、燃料使用量は全ての月において削減することができたので、今後も削減目標を達成できるよう継続して取り組みたいと思います。

ICT導入に関しては、建設機械等さらに新しいものを取り入れる計画をしています。これにより、一層の省力化・効率化を図っていくことが可能になると期待しています。

今後も全社員一丸となり、地球環境を配慮した行動を意識し、地域環境の保全に努めていきたいと思っています。

令和6年6月20日 代表取締役 佐々木 聡